

公民館コラボ LAB



福岡市共働事業提案制度 事業の進捗状況資料 (令和2年度)

公民館コラボLAB実行委員会

福岡市公民館支援課
NPO 法人ドネルモ

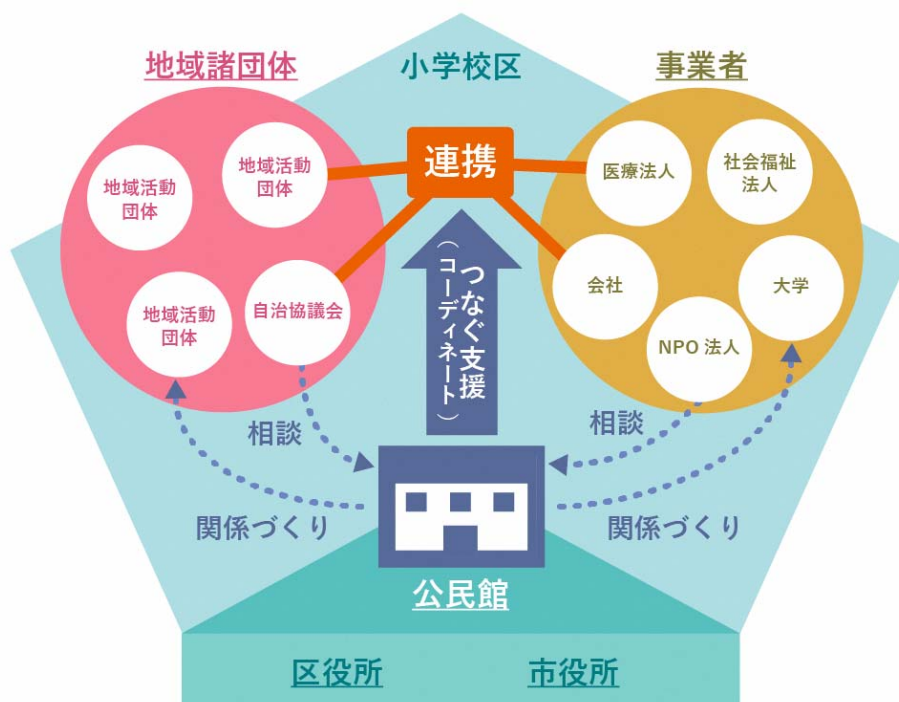
(福岡市共働事業提案制度 平成29年度採択事業)

(1) 共働のきっかけ・必要性

- 福岡市では、平成28年度から自治協議会や企業、商店街、NPO、大学、行政がお互いの長所や資質を活かして共に協力し合って地域の未来を創り出す「共創のまちづくり」を進めている。
- その中で、NPOが小学校区毎に設置されている公民館の「集まる」、「学ぶ」、「つなぐ」機能に着目し、地域内の連携により地域コミュニティ活動を活性化するうえで、公民館のこれらの機能を有効に発揮する仕組みが必要と感じ、提案を行った。
- 福岡市は共創のまちづくりを進めるうえで公民館の機能を活かした仕組みづくりを模索していた中、連携促進に関しノウハウを有するNPOからの提案を受け、当該事業を行うこととなった。

(2) 事業目的

本事業の目的は、『地域におけるまちづくりの活性化に向け、公民館のコーディネート機能を強化することにより、地域諸団体と事業者との連携の促進を図る』ことである。また、単に連携を促進するだけでなく、その連携によって生じる人との出会いや発想が、住民による新たな活動や学びの連鎖を生み出し、地域の新しい担い手の発掘へと繋がる。さらに、それが持続可能な地域づくりの基盤となっていくということも視野に入れながら事業を行っていく。



(3) 事業目標

- 連携事業・支援に関するノウハウ等を集めたガイドブックの作成・共有
- 連携事業・支援推進のための環境整備
- 公民館職員に対する連携事業・支援に関する研修の実施
- 本事業実施による効果の検証

(4) 事業内容

連携には地域の実情に合わせた様々な形がある中で、新たな担い手づくりや地域諸団体への展開につながっている事例があることを踏まえ、今年度は、より多くの公民館が日常的に連携事業・支援を行えるようにするため、下記の事業を行う。

●連携事業・支援に関するノウハウ等を集めたガイドブックの作成・共有

<ガイドブックの作成>

昨年度、作業部会で議論を重ねたガイドブック案について調整を行っており、各区地域支援課への意見収集や館長・主事へのヒアリングの後、最終版を作成する。

<説明会>

ガイドブックの目的や内容を周知するため、各区地域支援課職員を対象に説明会を開催する。

<ワークショップ>

各区の実情に合わせた事業者とのスムーズな連携を目的として、区ごとに地域支援課職員と公民館職員によるワークショップを行う。



●連携事業・支援推進のための環境整備

＜運営方針・運営報告の書式改訂＞

昨年度の作業部会での意見を受け、各公民館で毎年度作成する運営方針・運営報告の書式に、事業者との連携についての方針や連携事業・支援を行った実績を記載する欄を設けるための改訂を行う。

＜講師情報サイト一覧の共有＞

昨年度の作業部会での意見を受け、課題解決に適切な事業者とつながるサポートをするため、参考となる講師情報サイトをとりまとめた資料を全公民館に配布する。

＜おすすめ講座一覧の共有＞

昨年度の作業部会での意見を受け、課題解決に適切な事業者とつながるサポートをするため、各公民館が勧める講座をとりまとめて、全公民館で共有する。

＜リーフレットの作成＞

昨年度の作業部会での意見を受け、事業者との連携の機会の増加につなげるため、公民館を訪れる事業者向けに公民館の役割や機能を紹介するリーフレットを作成する。

●公民館職員に対する連携事業・支援に関する研修の実施

＜公民館フォーラムにおける事業者との連携に関する研修の実施＞

事業者との連携事例を共有し、公民館の機能を活かした連携のあり方を学ぶため、公民館フォーラムにおいて、事業者との連携に関する研修を実施する。

●本事業実施による効果の検証

＜公民館へのアンケート＞

本事業実施による効果を検証するため、事業者との連携事業・支援に関する公民館職員の意識や実施状況等についてのWEBアンケートを行う。

＜事業者との連携に関する伴走支援＞

令和元年度から伴走支援を実施している3館について、フォローアップを実施する。

(5) NPOと市の役割分担

	福岡市	← 共働 →	ドネルモ
1 公民館による 地域連携支援の 仕組みづくり	- 検討会議の連絡調整 - 地域連携支援に向けた仕組み構築 - 市の方針等実情を踏まえたハンドブックの検討	- 検討会議の実施 - 地域連携支援が実践できる仕組み検討 - 手引きの内容検討	- 効果的な検討会議の企画 - 地域に有用な仕組みの検討 - 手引きのデザイン等の検討
2 公民館による 地域連携支援に 関する意識や 情報共有	区、公民館への連絡調整	- 公開イベント企画運営・広報 - 公民館フォーラムの企画運営	- 効果的なイベント・フォーラムの企画・進行 - 事業者への連絡調整 - フォーラム発表館との打合、サポート

共働事業の特性を最大限に活かし、

- NPO法人ドネルモと福岡市公民館支援課が対等な立場で意見交換を行う中で、**互いのアイデアや意見を尊重し実施していくことにより、効果的な事業を実施**
- NPO法人ドネルモのアイデアにより、**当初予定になかった公民館職員以外も対象にした「公開イベント」等、弾力的に取り組んでいくことにより、事業を充実**

などの取組を行っている。

(6) 担当者の声・市民の声

今年度前半は対外的な活動が困難な状況にあったため、限定的ではあるが、10館程度の公民館に対しコロナ禍で活動が制限される中での公民館事業について、電話やメールでの聞き取りを行った。コロナ対応が必須となる状況においても、これまでの関係性やノウハウを生かし、事業者と連携してオンライン等の新しいツールを取り入れるなど、公民館だけで取り組むことが難しいことにも前向きに取り組みながら事業を行っていることがわかった。

(7) 共働事業終了後の展開

3年間の事業実施において得た連携に関するノウハウ等を活かして、次年度以降も継続、さらには発展させていく必要があるため、ガイドブックを活用した公民館職員向けの研修の充実を行うとともに、整備した環境を定期的にアップデートすることにより、連携を行う各公民館への支援を行っていく。